



学校だより

新潟市立中之口東小学校 2025. 5. 28
第386号 児童数110名
ホームページ
<https://www.kiranico.jp/>



地域の皆さんに感謝

校長 小森 康貴

私の子どもが通う学校では、見守り当番があり、保護者は地域の子どもたちの登校の見守りを年に数回行うことになっています。私も何度か見守り当番をしました。今のような気候の時期はよいのですが、真夏の暑い日や真冬の寒い日は「つらいなあ」「行きたくないなあ」と思います。

ある日、登校の見守りを毎日しているボランティアの方に「こんな寒い日の見守りは嫌ではないですか？」と聞いたことがあります。すると、その方は「大変だけど、それ以上に子どもから元気をもたらえるから続けています」と迷いなく答えてくれました。そのとき、年に数回しか見守りをしないのに「つらいなあ」「行きたくないなあ」と思った自分を情けなく思いました。

5月の初めに、中之口東小学校のセーフティスタッフ会議がありました。私は、会議の最後にセーフティスタッフの方々に「どうして、登下校の見守りをしようと思ったのですか？」と聞いてみました。すると、様々な答えが返ってきました。大きく分けると次の3つでした。

1 健康のため

「運動になる」「生活リズムが整う」「体調がよくなる」「健康のもと」

2 家族が登下校しているから

「孫が登校しているから」「家族が事故にあわないか心配」

3 喜びがある

「子どもたちの元気な顔が見られる」

「『おはようございます!』と子どもたちが声をかけてくれるのがうれしい」

「子どもと話をするのが楽しい」

この結果から、中之口東小学校のセーフティスタッフの皆さんも、見守りを通して子どもから元気をもったりうれしい気持ちになったりしていることが分かりました。さらに、様々な情報交換を通して、セーフティスタッフの皆さんが、子どもの安全をととても心配していることも分かりました。皆さんは、中之口東小学校の子どもたちを宝物のように大切に思ってくれています。

このような地域の方々のおかげで、子どもたちの安全が確保されていることに感謝しています。また、登下校の見守りに限らず、様々な場面でボランティアをしてくださる地域の皆様のおかげで教育活動が充実していることも実感しています。本当にありがとうございます。

保護者の皆様にお願ひです。お子さんに、セーフティスタッフの皆さんやボランティアの方々に元気にあいさつをするように声かけをしてください。よろしくお願いします。